

NPO法人古賀志山を守ろう会活動記録

活動日	令和4年10月13日(木)	活動場所	北コース水場付近・膳棚コース付近	
活動内容	倒木伐採及び枯死木除去作業			
参加者	大出 忠	村田 鉄三	増田 弘文	野尻 喜一
	平野 昭夫	武井 収	佐野 久雄	長嶋 幸雄
	原田 昌廣	岩田 雄一	藤沼 力	戸崎 博之
	池田 正夫			



北コース水場付近の登山道を塞ぐ形で倒木が倒れ掛かり危険な状態になっていた。

多くの登山者が往来するメインルートであり、今年23日の日曜日には「宇都宮トレイル2022」のコースでもある。

今回は、被害防止と安全確保の観点から倒木伐採作業を行った。

(左写真、水場付近)

マツクイムシの被害を受けた赤松の大木が枯死木となり倒れて、通称膳棚コースの登山道を塞ぐ形で横たわっていた。

この膳棚コースも「宇都宮トレイルラン2022」における「ミドル」のコース上に当たる。大会前に処理できたことは幸いであった。このような枯死木はいつ倒れるか予告はない。

登山者は古賀志山山中にはこうした枯死木が数多く存在するので頭上の枯死木の有無なども注意して歩く心掛けが必要であろう。



上写真 膳棚コースの枯死木倒木



倒木伐採は常に危険と隣り合わせの作業である。作業時にはヘルメットは必需品であり、声掛けも必要十分条件である。

枯死木の伐採は倒しただけに留まらない。伐採後の片付けに時間がかかる。全員が協力してリレー方式で小枝の片付け、丸太の片付けも崩れない工夫が求められる。

今回の伐採作業は、全員怪我なく終了できた。ご苦労様でした。